

会員の結束と本教科の必要性を今こそ主張していく

(東京都中学校技術・家庭科研究会の充実・発展を目指して)

会長 杉 浦 伸 一

(墨田区立墨田中学校長)

東京都中学校技術・家庭科研究会 HP(<http://ajgika.ne.jp/~tokyo/>)



思いもよらぬ国難に社会、経済、教育等、世の中の多くが停滞し、令和2年度のはじまりは、波乱の幕開けとなりました。会員の皆様におかれましては、学校再開後も、新型コロナウイルス感染拡大は衰えず、会報をご覧いただく頃には終息に向かって欲しいと願いつつも、学習の遅れを取り戻すべく、With コロナを意識した学校における「新たな日常」「新しい教育の方法」を模索しながら、多忙の日々をお過ごしのことと拝察いたします。

そのような状況下で、本研究会も年度初めの立ち上げが滞り、総会も書面によって議事を進めざるを得なくなりました。特に異議、ご質問等がございましたので、令和2年7月3日をもちまして「令和2年度議案書」は承認されましたことをご報告させていただきます。また、承認されました議案書に基づきまして、本年度より、本研究会の会長を務めさせていただきます墨田区立墨田中学校長の杉浦伸一と申します。中央区立銀座中学校長の平松功治前会長に2年間、事務局長としてお仕えし、ご指導いただきましたことや、10年に1度の学習指導要領改訂の全面実施の年に行われる令和3年度の全国東京大会に向けて共に準備してきました勢いを絶やすことなくさらに加速させてまいりますので、会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和2年度前半は、総会を始め当初予定しておりました様々な会合や事業が中止または延期となりました。全国広島大会及び関ブロ神奈川県大会は開催されず誌上大会となり、第21回を迎える全国中学生創造ものづくり教育フェア(東京)も次年度に延期となったことを受け、本研究会でも、中間報告会・研修会や夏季実技研修会は中止、ものづくりフェア in TOKYOも次年度に延期とさせていただきました。しかしながら、全国東京大会への布石となる、令和3年2月22日(月)の研究発表会は、その時の状況に応じた対策を講じて会員の皆様に全国東京大会の青写真をお示ししたいと考えています。また、一堂に会することが難しい昨今、これまで以上に、インターネットを介した情報の配信や、オンラインによるテレビ会議等の活用により、より多くの会員の皆様に情報を提供してまいります。

本研究会の研究は、会員の皆様に役立ち、皆様の工夫や実践が活かされる双方向の実践研究を目指しています。これまでの研究を停滞させないようにするためには、コロナ禍での指導法の在り方にも視点を当てる必要があります。例えば、教科の特性から、技術分野では工具の共用や作業台で向かい合っただけの授業をどのように実施しているか、家庭分野の食生活(調理実習)はどのように学ばせているかなど、日々の授業での工夫や対応策を皆様からお寄せいただきまとめたものを本研究会のホームページで紹介するなど、多くの会員の皆様が知恵を出し合い情報を共有して各自の授業力が高められ、研究会も充実・発展するような仕組みを考えてまいります。多忙や遠方で会合には参加できなくても、ネット会議で研究を進め、その内容をホームページに掲載、配信していくよう努めます。どうぞ、多くの会員の皆様が定期的にホームページを活用いただき、できれば研究会の8つの分科会(部会)のいずれかに所属し、参加いただければ幸いです。また、大会当日も会場に足を運ばない全国の先生方にも、研究授業の様子を配信できないか検討してまいります。

今回の指導要領の改訂による、本教科の教科目標の文末は、「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成」とあります。本教科のねらいや研究は、これからの予測困難な時代を生きていく生徒が必要としている、よりよい生活、新たな日常を工夫し創造する資質や能力を育てることと一致しており、今こそ、技術・家庭科の必要性をアピールする機会と捉え、このピンチをチャンスに変えていきたいと考えます。どうぞ、多くの方々のご協力とご尽力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。